



伊丹市立図書館が製作したブックリスト

### たくさん読んで図書館員に

### 小学生対象に伊丹市立図書館

本をたくさん読んで、夏休みに一日図書館員になる。伊丹市立図書館「ことば蔵」が、伊丹市在住の小学4～6年生を対象にそんな取り組みを始める。

申込期間は7月31日まで。定員20人。応募者が多数の場合は抽選。一日図書館員は伊丹市在住が条件だが、ブックリストは市外在住でももらえる。問い合わせは伊丹市立図書館「ことば蔵」(072・783・2775)へ。

(山下弘展)

「読んでよんで物語」に掲載されている本を7冊以上読まなければならない。「読んでよんで」が第一なので、返却時にはカウンターで感想も聞きます。感想を伝える相手がいれば、もっと読書に興味を持つかもしれないと花井祐代司書。

図書館員として「勤務」するのは、8月20～28日の間の希望日の13～16時。貸し出し、返却受け付けや本の配列、仕分けなどを担当し、バックヤードツアーもある。



カウンターで本を貸し出す「一日図書館員」の児童(左)＝伊丹市宮ノ前3丁目

### 「一日図書館員」に児童ら

### 伊丹市立図書館、初日は3人

伊丹市立図書館「ことば蔵」で、市内在住の小学生による「一日図書館員」が20日から始まった。初日は小学6年の女児3人が図書館員になりきった。28日まで。

同図書館では、5月16日～7月31日の期間中に独自のブックリスト「よんでよんで物語」から7冊以上を

読んだ小学4年生以上を対象に、一日図書館員を募集。定員20人に29人から申し込みがあったが、全員に体験してもらったことになった。参加した児童は、図書館の役割について学んだ後、実際の「仕事」につく。この日は午後1～4時に、夜間返却ポストに返さ

れた本の仕分けや、本棚に戻す作業、カウンターでの貸し出し、返却受け付けなどをこなした。大西来実さん(11)は「週に1回は図書館

を使っているけど、一度やってみなかった。カウンターの仕事が楽しかった」と笑顔だった。

(山下弘展)